



池島魂



教育目標 「愛顔でより良い未来に向かって努力する子供の育成」

文責：校長



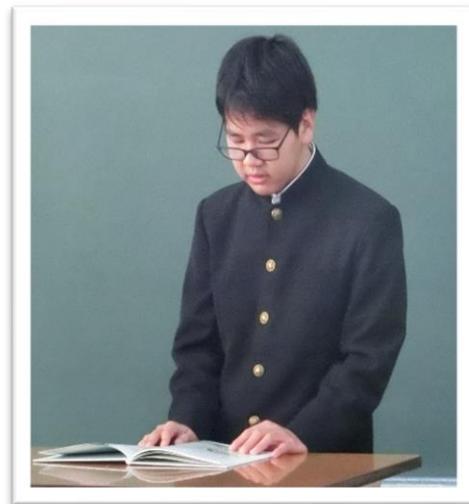
人権週間(12/4~12/10)



12/4~12/10 は人権週間です。前月にもお知らせいたしましたが、池島小中学校では、1学期の「人権ひまわり」の取組から**普段の学校生活**の中での**態度や行動**、**ことばづか**言葉遣いの指導をベースに、人権学習を行っています。

その一環として、児童生徒が絵本の読み聞かせをしています。

昨日は中学生が「わたしのいもうと」を**だいざい**題材に読み聞かせを行い、絵本の内容や自分の考えを伝えようとしました。たいへん丁寧な話しぶりで成長を感じました。



自分の気持ちを自分の置かれている立場や状況に応じて、**ていねい**丁寧な**ことばづか**言葉遣いや**まへむき**前向きな表情や態度で**てきかく**的確に**ひょうげん**表現することは、学校や地域など社会でよりよく**いきていく**生きていくために**あか**欠かせないスキルです。そのためには、家族や友だち、先生方、地域の方々など自分が出会う人たちの考えや気持ちを**そうぞう**創造する力、**きょうかん**共感する力が不可欠です。

人権教育や将来を見据えた生きる力を育む子どもたちの健全育成の観点からも、学校でも家庭でも地域でも意識して指導・支援・実践していきましょう。

あれはイソップだったと思うのですが、池のかえるが子供にさけんでいます。「お願いだから石を投げないで。あなたたちには遊びでも、わたしには命の問題だから。」

自分より弱いものをいじめる・・・、自分と同じでないものを許さない・・・、そうした差別こそ戦争につながるのではないのでしょうか。

同じ日本人の中での差別は、他の民族への差別とかさなり、人間の尊厳をふみにじっていきます。アウシュビッツも、太平洋戦争で犯した残虐行為も、ここにつながります。

そして、おそろしいのは、おおかたの人が自分でも知らないうちに加害者になっている、またなり得ることではないのでしょうか。

「わたしのいもうと」 あとがきより



小学校国語
みんなで「ことわざかるた」
上手に読んでいます！

小学校国語
みんなで「ことわざかるた」
真剣なまなざしです！



